

アウトリーチ型ソーシャルスキルトレーニング研修について

平成 25 年度から専門職養成研修を継続実施する中で、事業所における S S T の導入に結びつかないこと、実地研修を期待する受講者の声があることから、アウトリーチ型 S S T 研修の実施に至りました。

放課後等デイサービス事業所における S S T 導入を目的に技術支援を行っていますが、下記のとおり、当事業の効果指標を定めることとします。

1 現状

- 放課後等デイサービス事業所は、発達障害児の支援ニーズの多様化に伴い、その数を増やすとともに、事業形態・支援内容も多様化
- 平成 30～令和元年度に実施した事業の検証がされていない。
- 「S S T の普及」を当事業の効果指標とした場合、目標数値の設定が困難

2 課題

- 小規模の放課後等デイサービス事業所では、専門職の確保も含めて S S T の導入についてハードルが高い。
- 全国的に課題となっている放課後等デイサービスの質の低下については、そのための対策が必要
- 発達障害児の支援ニーズは年々増加していることから、専門機関による専門的支援だけでなく、一般の子育て支援機関が発達障害を理解し、適切に関わることができるような汎用性のある取組、裾野を広げる取組が必要

3 対応案

- 当事業のアウトカムを、「教育と連携する放課後デイサービス事業所の育成」とし、目標数値を、各教育委員会が連携する事業所が少なくとも 1 カ所以上とする。
- 対象事業所の要件を、専門人材の確保が継続的に見込める法人が運営する放課後等デイサービス事業所と限定する。